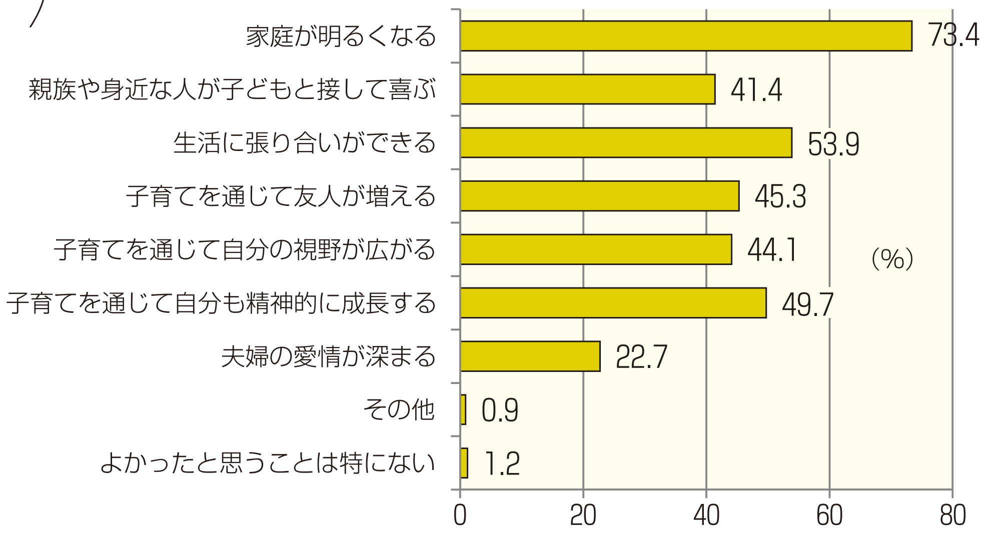
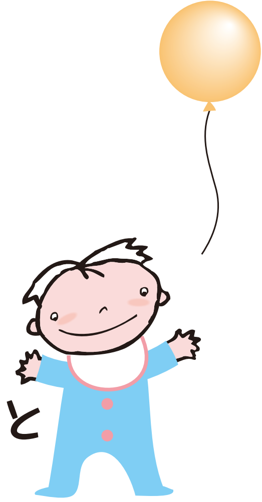
子どもを産んでよかったこと

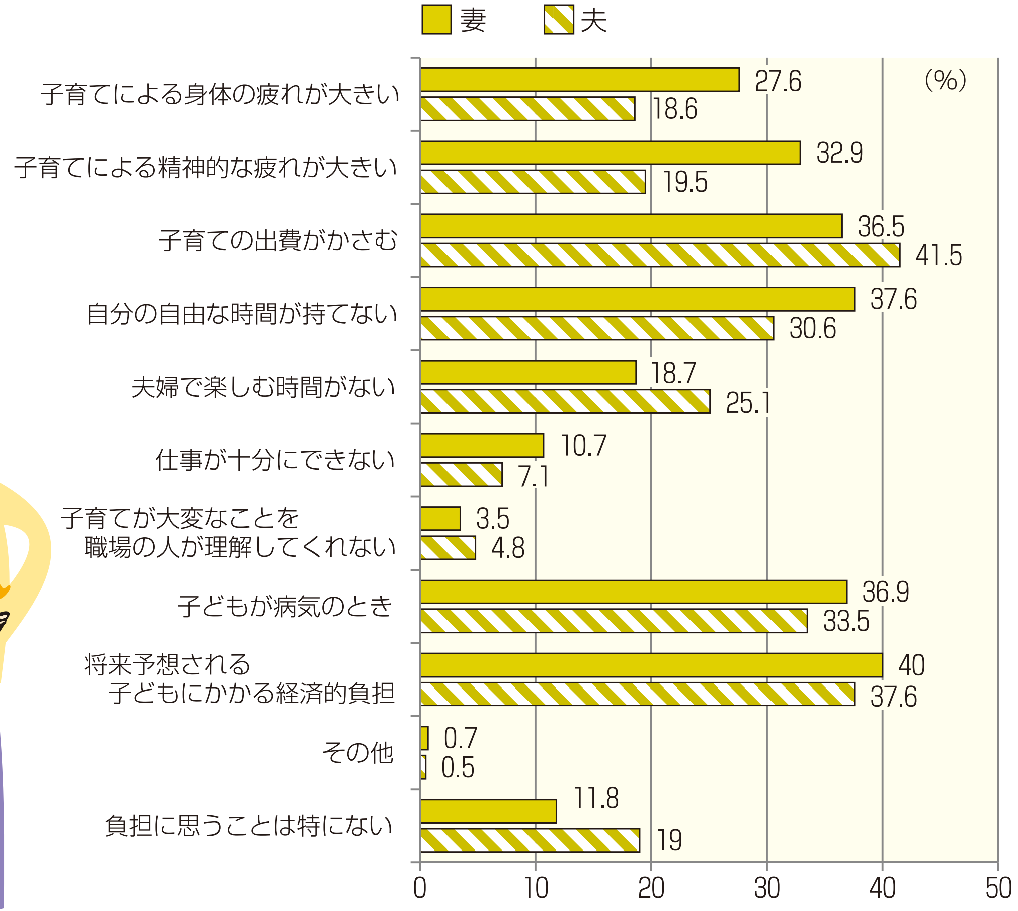
（複数回答　対象：子どもをもつ母親）





子育てをしていて、負担・不安に思うこと

（複数回答　対象：子どもをもつ夫婦）



資料：内閣府「都市と地方における子育て環境に関する調査」（平成23年度）

「「親」をまなぶ・「親」をつたえる」 大阪府教育委員会事務局市町村教育室地域教育振興課　平成27年3月発行
〒540-0008　大阪市中央区大手前3丁目2-12　電話 06-6944-6901　http://www.pref.osaka.lg.jp/chikikyoiku/information/
このリーフレットは24000部（24種類 各1000部）作成し、一部あたりの単価は23円です。

「時間をもつ」

エピソード

秀子さんは３歳になる達也君と1歳半のさなえちゃんの母親です。現在は仕事をやめて郊外のマンションに家族４人で暮らしています。夫の帰宅は深夜になることがほとんどです。

秋のある日。夫を送り出して洗濯物を干し、ほっと一息。さなえちゃんも、やっと一人で歩けるようになってきました。二人の子どもを連れて近くの公園に出かけた秀子さん。最近仲良くなった景子さん親子が来ています。

秀　子：「ユウタ君おはよう。景子さん、しばらく見なかったわね。カゼでもひいてたの？」

景　子：「３日ほど前までユウタの熱がさがらなくて。やっと元気になったんだけど…。」

秀　子：「どうしたの？　ぐあいが悪そうだけど。」

景　子：「早く帰ってユウタを病院に連れて行ってほしいって、夫に電話したら、『仕事が忙しい。こんないい季節にカゼをひくのはおまえの不注意だ。俺にカゼがうつったら大変だろう。』ってけんかになったのよ。」

秀　子：「誰だってカゼひくんだから、景子さんだけをせめてもしようがないのに。…」

景　子：「でも、ユウタの調子がおかしいのに早く気づくべきだったのよね。悪いのはやっぱり私なのよね。毎日なんとなく疲れてイライラしてばかりで、しっかり子どものことを見てなかったのかもしれないわ。」

秀　子：「それはうちも同じよ。夫はかまってくれないし。仕事ばかりで会話なんてないわ。私も子どもに時間をとられるばかりで、これでいいのかって思ってしまうのよね…。」

そこへ、パートに行く途中の秋子さんが通りかかりました。
秋　子：「時間をつくるように自分で工夫しなくちゃだめよ。
いい方法があるんだけど。」
秋子さんが教えてくれたのは、近くの会館であるセミナーでした。
秋　子：「保育付きって、中身はどうでも、そのあいだ子どもを
あずかってくれるのがいいのよ。一度行ってみたら？
親子づれでたくさん来ているし、友だちも増えるわよ。」
こうして、いろんな催しにかようことになった秀子さんと景子さん。今では内容に関係なく、とにかく「保育付き」の催しを見つけてせっせと出かけています。

景子さんのひとりごと…

よかったわ。私もほっとできたし、
子どもたちもよろこんでいる…。
講座に行くと言うと
夫も安心しているみたいだわ。
でも、できれば毎日、
もっと長く預かってくれないかしら。

秀子さんのひとりごと…

内容にはまったく関心がないけれど、
これでいいのかなあ。
しんどいときは、
夫や友だちに預かってもらって、
自分の時間をもつのが
本当じゃないかなって思うんだけど。

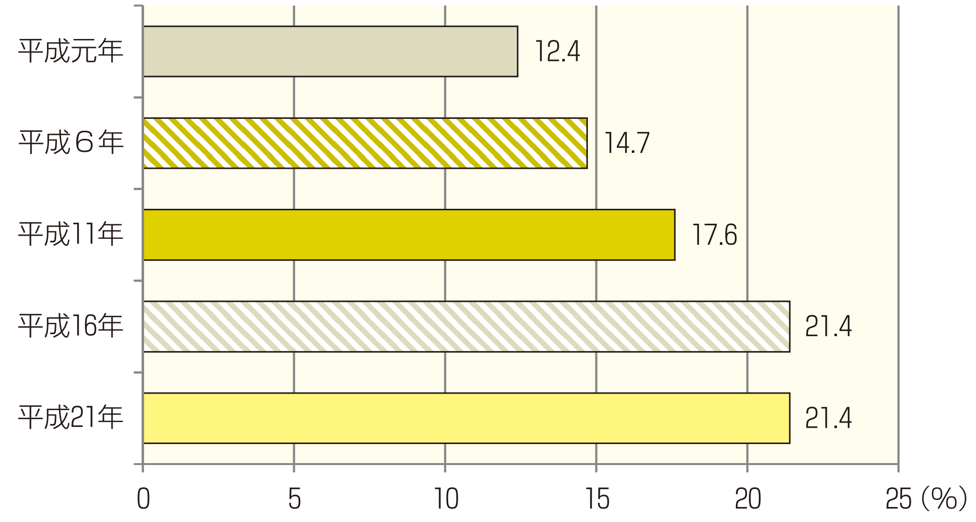
話しあいのポイント

- エピソードで気になるところ、共感するところはどこでしょうか？

- 自分の時間を持つためにはどうしたらよいと思いますか？

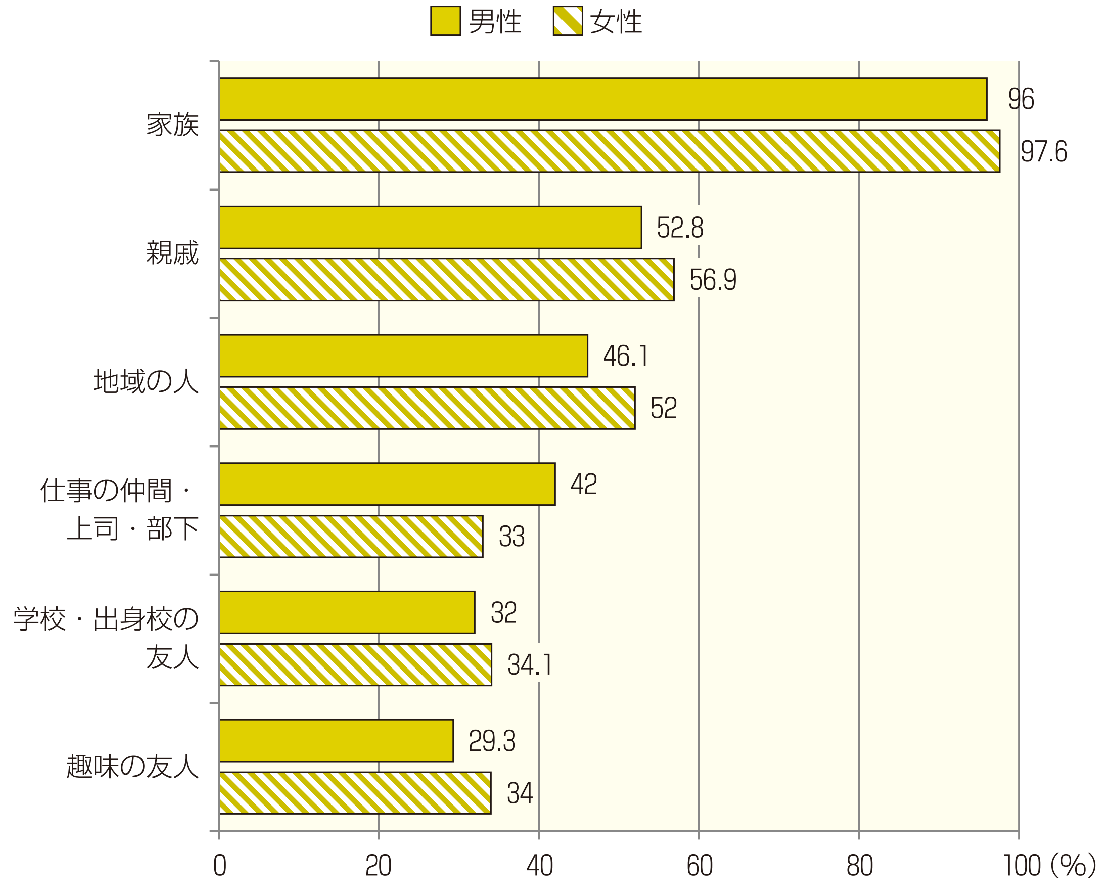
参考資料

「家庭養育上の問題」として「しつけや子育てに自信がない」と答えた世帯の割合（対象：18歳未満の児童のいる世帯）



資料：厚生労働省「全国家庭児童調査」（平成元年〜平成21年）

大切と思う人間関係やつながり（複数回答　対象：20〜79歳）



資料：内閣府「家族と地域における子育てに関する意識調査」（平成25年度）